

報告書（2019年2月）

1. 日欧経済連携協定（日EU EPA）2月1日発効

域内人口：6,4億人、国数：29か国、国内総生産（GDP）：約2600兆円（23.8兆ドル）

昨年12月末に発効したTPP11と合わせると世界のGDPの35%（日本の重複を除く）

巨大な貿易圏の恩恵に与えるのか、食品産業はどうなるのか。日本の農林水産物の加工品の輸出を拡大するチャンスですが、非関税障壁（添加物規制等）もあり容易ではありません。非関税障壁を取り除くための事業（例えば、添加物申請）の加速が求められおり、2月7日に成立した平成32年度補正予算にも、既存添加物の欧米での申請事業への補助もあります。

2. 消除予定添加物名簿

厚生労働省は、2月28日、消除予定添加物名簿を公示しました。

名簿番号	名称
29	イタコン酸
87	魚鱗箔（魚類の上皮部から抽出して得られたものをいう。）
114	クーロー色素（ソメモノイモの根から抽出して得られたものをいう。）
122	香辛料抽出物（チャービルから抽出し、又はこれを水蒸気蒸留して得られたものに限る。）
135	骨炭色素（骨を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。）
137	ゴマ柄灰抽出物（ゴマの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。）
149	シアナット色素（シアノキの果実又は種皮から抽出して得られたものをいう。）
263	フェリチン
287	へゴ・イチョウ抽出物（イチョウ及びへゴの葉から抽出して得られたものをいう。）
359	レバン（枯草菌の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。）

3. 食品添加物公定書の一部改正

2月27日の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会添加物部で、食品添加物の新規指定と食品添加物公定書の一部改正が審議されました。

- 1) 新規指定：二炭酸ジメチル
- 2) 新たな規格の設定：イソマルトデキストラナーゼ、カキ色素（いずれも既存添加物）
- 3) 規格の改定：エンジュ抽出物の試験法、*dl*- α -トコフェロールの性状

4. 遺伝子組換え食品（厚生労働省）

ゲノム編集技術を利用して得られた食品（農産物等）についての食品衛生法上の取扱いが厚生労働省薬事食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会遺伝子組換え食品等調査会で検討され、1月17日の新開発食品調査部会で「部会報告書（案）」がとりまとめられ、2月5日（東京）と2月8日（大阪）に説明会が開催されました。

1月24日～2月24日、意見募集（パブコメ）が実施されました。

3月には「部会報告書」がとりまとめられ、食品衛生分科会で審議されると思われます。これにより、ゲノム編集技術応用食品等の食品衛生法上の取扱いが明確になり、ゲノム編集技術応用食品等が流通するものと思われます。

4. 食品の放射能問題

(原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限)

- ① 福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の特定の動植物の出荷の制限
- ② 2月7日、福島県沖で漁獲されたコモンカスベについて、出荷制限がなされました。

5. CODEX

1) JECFA 規格の改訂等

例えば、ウコン色素 (Curcumin INS 100(i)) の残留溶媒の改定が検討されています。第9版添加物公定書で改定されなかった有機塩素系残留溶媒を容認した状態では、諸外国が輸入できない不良品が日本で消費される可能性が出てくると考えられます。国際調和は肝心です。

https://www.who.int/foodsafety/areas_work/chemical-risks/JECFA86-Summary.pdf

2) 台湾の食品添加物規制が EU と類似の GSFA に (パブコメ)

台湾 FDA HP の「食品添加物使用範囲及び限量標準」の草案の改訂が予告され、

<https://www.fda.gov.tw/TC/newsContent.aspx?cid=5072&id=24603>

台湾衛生福利部より「食品添加物使用範囲 及限量標準」草案 (321 ページ) が公表されました。EU と類似の GSFA です。EU で E-000 は、台湾で T-000 です。(番号は同じ)

6. 栄養とサプリメントの栄養成分表示の順守日 (米国 FDA)

12月19日、米国 FDA は、栄養とサプリメントの栄養成分表示の順守日を、2022年1月1日に統一することです。

<https://www.fda.gov/Food/NewsEvents/ConstituentUpdates/ucm628766.htm>

7. ダイエタリーサプリメントの規制の強化 (米国 FDA)

サプリメント健康教育法 (DSHEA) が連邦議会を通過してから 25 年を経過しました。サプリメント産業の大規模化に伴い危険な製品の販売、未承認製品の製造、誤解を招く強調表示も存在するようになりました。消費者が合法のサプリメントを利用できるようにする等、監視の近代化のために、ダイエタリーサプリメント作業部会を FDA 内に設置されます。

- ・ 優先事項 ①安全性確保 ②製品の信頼性の維持 ③情報が与えられた上での意志決定
- ・ 対策 ①違法で危険な原料に対する迅速な情報共有 ②新規ダイエタリー成分 (NDI) 通知
- ③産業界との密接な作業 ④公衆衛生を保護するための対応
- ⑤サプリメント健康教育法 (DSHEA) の近代化

<https://www.fda.gov/NewsEvents/Newsroom/PressAnnouncements/ucm631065.htm>

8. 米国 EPA が包括的 PEAS 行動計画を公表 (2月14日)

米国環境保護庁 (EPA Environmental Protection Agency) は、ポリフルオロアルキル化合物 (PFAS) に対する行動計画を公表しました。①飲料水の最大汚染濃度 (MCL maximum contaminant level) の設定 ②クリーンアップ暫定助言の発行 ③執行 ④モニタリング ⑤PFAS の分析法の開発 ⑥リスクコミュニケーション

<https://www.epa.gov/newsreleases/epa-acting-administrator-announces-first-ever-comprehensive-nationwide-pfas-action-1>

9. エルカ酸 : BfR (ドイツ連邦リスクアセスメント研究所) は EFSA の最大基準値を支持
EFSA の最大基準値 :

- ・植物製油脂 : 20 g/kg (現行 : 50 g/kg)
- ・植物製油脂添加食品 : 未設定 (現行 : 50 g/kg)
(乳児用調整乳およびフォローアップミルクを除く)
- ・乳児用調整乳およびフォローアップミルク : 4 g/kg (現行 : 10 g/kg)
- ・マスタード : 30 g/kg (現行 : 最大値は設定されていない)

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/erucic-acid-bfr-endorses-proposed-maximum-levels-but-foods-with-added-fats-should-be-restricted-too.pdf>

10. シーフードの誤表示はサプライチェーン全体で存在 (カナダ)

魚の誤表示が 32%にも及び、サプライチェーンのどの段階に問題があるとのことです。

- ・輸入段階での誤表示 : 17.6 %
- ・加工段階での誤表示 : 27.3 %
- ・小売段階での誤表示 : 38.16 %

この結果は、流通段階で魚の再包装がなされていることを示すとのことです。

https://www.eurekalert.org/pub_releases/2019-02/uog-smp020719.php

10. ソーセージの 14%で誤表示 (カナダ)

- ・30 のビーフソーセージ : 5 つに羊肉、4 つに豚肉、1 つに鶏肉
- ・20 のチキンソーセージ : 3 つにシチメンチョウ肉、1 つに豚肉、1 つに牛肉
- ・ポークソーセージ : 別の種類の肉は検出されず

今回の調査で、ウマ肉は検出されなかったとのことです。

https://www.eurekalert.org/pub_releases/2019-01/tl-pss011019.php

12. 「タイ産キノコ」に検査命令 (2月18日)

検疫所におけるモニタリング検査で、「タイ産きのこ (HED-KRA-DANG と称す)」から基準 (0.01 ppm) を超えてクロルピリホスが検出されたことから、検査が義務付けられました。

*クロルピリホス : 有機リン系殺虫剤

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000479760.pdf>

13. 輸入食品の違反事例

- ・株式会社アグロフレッシュが中国から輸入した「生鮮にんじん」のモニタリング検査で、チアメトキサム 0.6ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。

*チアメトキサム：ネオニコチノイド系殺虫剤

- ・株式会社極洋がベトナムから輸入した「加熱後摂取冷凍食品（凍結直前未加熱）：えび類」の命令検査で、エンロフロキサシン 0.02ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示されました。

*エンロフロキサシン：ニューキノロン系合成抗菌剤

(2019年3月1日)